

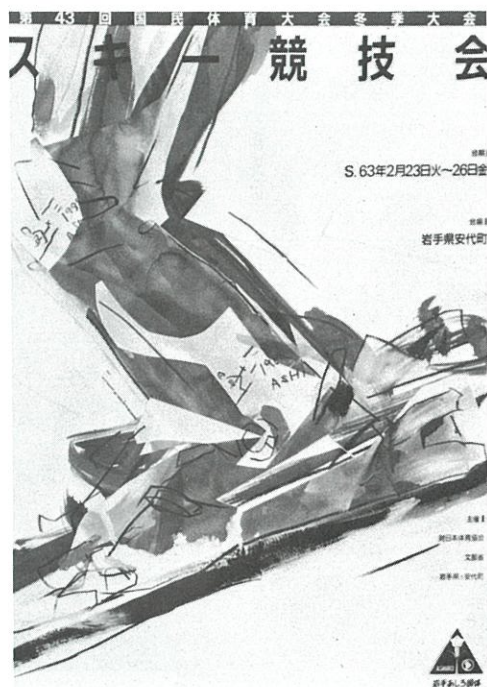
県民の総力結集し あしろ国体成功を

63年2月に安代町で開催される冬季スキー国体の県実行委員会（会長中村知事）総会が6月2日、県庁で開催された。中村会長から「総力を結集して国体を成功させ、冬季五輪実現のステップにしたい」とのあいさつの後、事業計画などが協議され、会期は63年2月23日～26日と決定。

ところで、あしろ国体で使用されるシンボルマークとポスターが決った。シンボルマークは、盛岡市の杉本吉武さんの作品で、ASHIROのAと山並みとリンドウを配したものだ。また、ポスターは、安代町出身で東京在住の後藤秀さんの滑走するスキーヤーの足元をイメージした作品に決定した。県民挙げて、あしろ国体の成功を期したいもの。



◀あしろ国体のシンボルマーク。全体の三角形は、ASHIROの頭文字Aと安代の山並みをイメージ。中央はリンドウの花にスキーを合わせた形で茎を表わし国体に友情の花リンドウが咲いた様子をシンボライズしている。



▲後藤秀さんデザインのポスター



▲開催された実行委員会総会



▲東京で開催された企業立地セミナー

企業立地セミナー 東京、大阪で開催

本県への企業誘致を促進するため例年開催している企業立地セミナーが、6月16日に東京、18日に大阪で実施された。セミナーには、それぞれ100社以上の企業の参加があり、県出身の作家中津文彦さん、中村岩大工学部長、60年に西根町に進出した品川ダイカストの加藤工場長の講演や意見交換が行われた。本県は、北上川流域テクノポリス構想の年度内指定が見込まれており、ICなどの先端技術産業の導入に大きく弾みがつくものと期待される。

北上浄化センター 通水が開始される

本県の下水道普及率は、61年度で10.5%と全国平均36.5%をかなり下回っている。県では下水道の整備促進を重点事業に掲げ、北上川や磐井川などで流域下水道整備を進めているが、5月28日北上川流域下水道花北処理区北上浄化センターの通水式が中村知事に関係者が出席して行われた。同浄化センターは、北上市中心部の公共下水道をカバーしているが、さらに整備を進め、65年度中には花巻、江釣子の全域がカバーされることとなる。



▲快適な生活を支える浄化センター通水式



▲参加者と観客が一体となって開催された体育大会

身障者740人が参加 各種目に熱戦展開

第25回県身体障害者体育大会が6月14日、県営運動公園、県営体育館、盛岡市立屋内プールを会場に開催された。大会には、県内各地から740人の選手が参加したほか、新幹線開業が縁で毎年交流している埼玉県からも12人の選手が参加。梅雨入りとは思えない青空の下で、徒競走、車イスリレー、ソフトボール投げなどが行われたほか、県営体育館では卓球、市立屋内プールでは水泳などの競技が行われ、参加者と観客が一体となって熱戦が繰り広げられた。

東北の観光を考える フォーラムを開催

豊かな自然に恵まれた岩手県にとって、観光は大変重要な産業となっているが、本県を含めた東北地方のこれからの観光の在り方を探る新東北観光フォーラムが、6月12、13日に安代町で開催された。このフォーラムは、北海道東北開発公庫が主催したもので、中村知事ら岩手県関係者をはじめ、東北各県から自治体の観光担当者や観光業者など450人が参加。今野大阪産業大学教授、評論家の五代利矢子さんなどを中心に熱心に意見交換がなされた。



▲東北地方の観光の在り方について熱心な意見交換がなされた